

5.2.3. 受注者コードの取り扱い

工事管理項目の「受注者コード」には、発注者が定める受注者コードを記入してください。各契約担当課又は、監督職員に確認してください。

5.2.4. 水系 - 路線情報の取り扱い

工事管理項目の「測点情報」「距離標情報」は、“n + m”の形式とします。マイナス数値の場合でも、n, m それぞれの情報はプラス数値に換算したものを記入してください（記入例-1 参照）。

マイナス数値で管理する必要がある場合は、「測点情報」「距離標情報」には、プラス数値で記入可能な直近の値を記入し、工事管理項目の「予備」に正しい情報を記入してください（記入例-2 参照）。

（記入例-1）「起点側測点」が“001 - 010”の場合

「起点側測点-n」: 0

「起点側測点-m」: 990

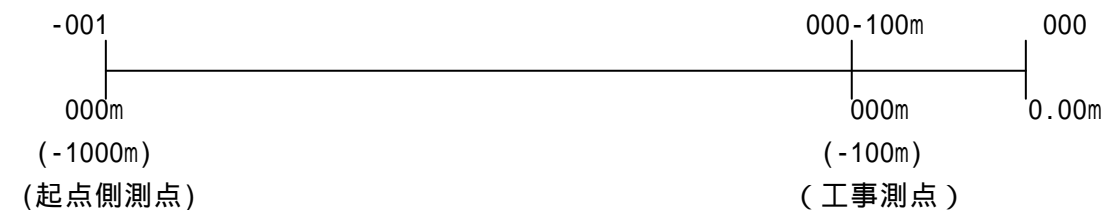


（記入例-2）「起点側測点」が“000 - 100”の場合

「起点側測点-n」: 0

「起点側測点-m」: 0

「予備」: 正しい起点側測点は、000 - 100 である。



マイナス数値は、0 になります。

「測点情報」の“n”は4桁、“m”は3桁、「距離標情報」の“n”と“m”は3桁です。

差し替え案

5.2.3. 発注者コードの取り扱い

工事管理項目の「発注者コード」は、当面は CORINS 入力システム Ver.6.0 の「発注機関コード（下記 URL 参照）」に従って 8 桁のコードを入力する。CORINS 入力システム Ver.6.0 は平成 21 年度に更新されていることから、平成 24 年度以降の工事では別コードの利用を検討中である。

【参考 URL】CORINS 入力システム Ver.6.0 の発注機関コード

<http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.html>

5.2.4. 受注者コードの取り扱い

工事管理項目の「受注者コード」には、発注者が定める受注者コードを記入してください。各契約担当課又は、監督職員に確認してください。

5.2.5. 水系 - 路線情報の取り扱い

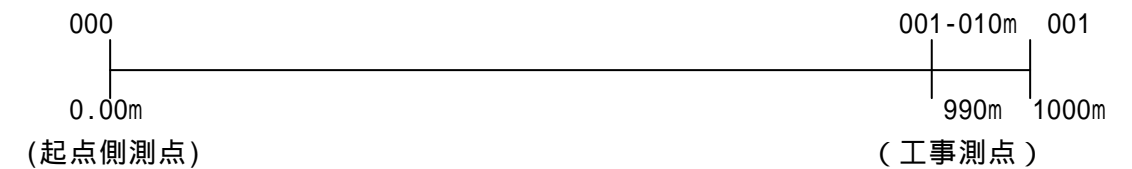
工事管理項目の「測点情報」「距離標情報」は、“n + m”の形式とします。マイナス数値の場合でも、n, m それぞれの情報はプラス数値に換算したものを記入してください（記入例-1 参照）。

マイナス数値で管理する必要がある場合は、「測点情報」「距離標情報」には、プラス数値で記入可能な直近の値を記入し、工事管理項目の「予備」に正しい情報を記入してください（記入例-2 参照）。

（記入例-1）「起点側測点」が“001 - 010”の場合

「起点側測点-n」: 0

「起点側測点-m」: 990



（記入例-2）「起点側測点」が“000 - 100”の場合

「起点側測点-n」: 0

「起点側測点-m」: 0

「予備」: 正しい起点側測点は、000 - 100 である。



マイナス数値は、0 になります。

「測点情報」の“n”は4桁、“m”は3桁、「距離標情報」の“n”と“m”は3桁です。